

熊本地震救援物資配布記録写真

報告 人と防災未来センター友の会

幹事長 荒井 勤

1、物資(お茶わん)の受取熊本市内・6月23日



5、ポスターを貼る舞子高校生の姿がテレビに



2、配布のための積み込み



6、集会所に運び込み食器市の準備・6月24日



3、積み込まれた品、20箱



7、無料食器市風景①



4、ボランティアでピラを配る舞子高校生



8、無料食器市風景②



9、無料食器市風景③



10、無料食器市風景④



11、無料食器市風景⑤



12、無料食器市風景⑥大好評のお茶わん



13、この様にして提供されたお茶わんは、全部配布されました。



*解説とご報告

兵庫県立舞子高校生の環境防災科生40名が熊本にボランティア実習に来ており、以前からあった交流があったこともあり、今回の無料食器市を手伝って頂きました。

会場は益城町役場のすぐ隣にある町営辻団地の集会所を役場と自治会にお願いして借りました。

前日にポスター貼りや、ビラ配り、それにテレビ熊本が事前告知をしてくれた事もあり、近隣の住民も沢山、食器市に来られました。

ボランティアもみんな終始笑顔で良い交流体験が出来たと思われまます。

今回の提供した食器類は約200箱で、受け取りに来られた方はおおよそ300人でした。

砂漠に水を流したように食器は、無くなりました。

お茶わんを提供された人と防災未来センター友の会の皆さんに、被災者に代わり御礼申し上げます。